



	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1 利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	10		スペースについては、国の定める基準では児童一人当たり2.47㎡となっており、基準以上のスペースが確保されており。		
	2 利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	10		国の基準では、1つの事業所に児童発達支援管理責任者・管理者を1名以上配置し、職員数は児童10名まで2人、それ以上の児童が利用する際には児童5名につき職員を1人ずつ増員するよう定められており、基準配置以上の職員がおります。		
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	3	7	現在、肢体不自由者の利用はございませんが、玄関やトイレの段差・狭さ、手すりやスロープ等バリアフリーとなっていないため、必要に応じて一部介助などおこなってまいります。	現在、身体的に介助を必要とする方はいらっしゃいませんが、今後は安全確保等を促す為にも検討してまいります。 該当者のご利用が無いですが、貸店舗にてハード面での改修は難しいですが、保護者様等のご意見を取り入れながら改善してまいりたいと考えております。	
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	10		毎日アルコール消毒や掃除をおこない、換気に注意し、気持ちの良い空間をご提供できるように努めております。		
	5 必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	10		個室もあり、対応できる環境となっております。		
業務改善	6 業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	10		業務改善を図るため、リフレクション会議を毎月開催しております。		
	7 保護者向け評価表により、保護者等の意向を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	10		自己評価を定期的におこない、改善の必要な部分については職員で共有し、保護者様のニーズを把握できるように努めております。		
	8 職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	10		職員の行動を振り返るリフレクション会議を毎月開催しております。		
	9 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	2	8	現時点では第三者評価は実施できておりません。	第三者による外部評価については今後の課題として検討してまいります。	
	10 職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内で研修を開催する機会が確保されているか。	10		定期的に社内研修をおこなっております。今年度は地域の研修にも参加し、オンライン受講なども活用しております。		
適切な支援の提供	11 適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	8	2	公式Webサイトにて公表しております。	令和8年度に向けた公表準備をしております。	
	12 個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	10		保護者様と十分な時間をかけて、アセスメントの確認、ニーズの聞き取り等、おこなっております。		
	13 放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	10		児童発達支援管理責任者の作成した原案を元に職員で話し合いをし、より良い支援内容や方法を考慮、検討するようにしております。		
	14 放課後等デイサービス計画が職員間で共有され、計画に沿った支援が行われているか。	10		個別支援会議等で計画内容の把握をおこない、個々の計画に沿った支援をおこなえるよう、全員で話し合っております。		
	15 こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	10		標準化されたアセスメントシートを使用し、状況の把握に努めております。		
	16 放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」「本人支援」「家族支援」「移行支援」及び「地域支援」「地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	10		ガイドラインに沿って、支援が必要な項目を適切に選択し、具体的な支援内容の設定に努めております。 また、日々の打合せや会議で児童の成長度合い、新しい課題を共有し、支援内容の適性を確認しております。		
	17 活動プログラムの立案をチームで行っているか。	10		個別支援会議で、活動プログラムを話し合い、チームで立案しております。		
	18 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	10		活動プログラムの固定化を避けて、また偏りが無いよう職員間で協議し、内容を組み合わせております。		
	19 こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	10		児童の発達に合わせて、個別活動と集団活動を組み合わせた支援計画を作成しております。		
	20 支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	8	2	毎朝情報共有をおこない、その日利用児童の支援内容や職員の役割分担を掲示するとともに確認しております。	シフトの関係で参加できない場合は、職員連絡帳や行程表などを活用して、共通認識を持てるようにしております。	
	21 支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点を共有しているか。	8	2	療育担当職員が記録の記入や口頭での引き継ぎをおこない、定期的にケース検討会を開催するなどして情報共有をおこなっております。	上記同様、会に参加できない場合は、職員連絡帳や行程表などの活用で、共通認識を持てるようにしております。	
	22 日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	10		日々の療育内容は必ず当日、もしくは次の日の午前中に記録をし、支援内容や当日の体調、情報等も記録し、振り返りに活用できるようにしております。		
	23 定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切に見直しを行っているか。	10		定期的に保護者様と面談をおこない、個々の状況に合わせて計画の見直しの必要性を判断し、目標設定などを勘案しております。		
	24 放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	10		支援内容に偏りが無いよう「4つの基本活動」を複数組み合わせる支援をおこなっております。		
	25 こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	10		療育内容をいくつか提示して選ぶ等、自己決定力を育てる支援をおこなっております。		
関係機関や保護者との連携	26 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	10		児童の状況に精通している児童発達支援管理責任者や専門職の職員が担当者会議に参加しております。		
	27 地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、教育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	10		定期健診に行かれる際に、事業所の利用時の様子をお伝えしたり、検査結果を見せていただき、職員間で支援方法を確認するなど、連携した支援をおこなっております。		
	28 学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	10		保護者様から学校行事や時間変更を教えてください、学校とも連携を図り、下校時刻の確認等連絡調整をおこなっております。		
	29 就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	8	2	担当者会議を通して情報提供、共有をおこない、支援の方針が統一できるように努めております。	今後も関係機関と密な連携を継続し、支援がおこなわれているよう努めてまいります。	
	30 学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	7	3	関係機関で支援内容を情報共有する会議に参加し担当者会議を通して、支援の方針が統一されるように努めております。	今後も関係機関と密な連携を継続し、支援がおこなわれているよう努めてまいります。	
	31 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	5	5	担当者を通して様子をお聞きしております。また、系列の他事業所に在籍している専門職の職員に、支援方法を教えてもらうなどしております。	今後も関係機関と密な連携を継続し、支援がおこなわれているよう努めてまいります。	
	32 放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	1	9	現在、実施することが出来ておりません。	事業所への理解を深めていただく機会として交流などの活動を考えてまいります。しかし、実施するにあたっては、保護者様にアンケートで確認等して、お気持ちに配慮したうえで考えてまいりたいと思います。	
	33 (自立支援) 協議会等へ積極的に参加しているか。	1	9	現在、実施することが出来ておりません。	日程調整が難しい面もございますが、機会があれば参加してまいります。	
	34 日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達状況や課題について共通理解を持っているか。	10		連絡ノートや、送迎時の機会（場合によっては面談や電話相談）を利用して、保護者様との情報交換をおこない、児童についての共通理解を深めております。		
	35 家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	7	3	保護者様のお悩みやご相談に寄り添った支援を心がけ、保護者様に支援内容を理解していただき、お悩みの解決手段や、児童の成長のためにご協力をいただける部分は、ご家庭でも取り組んでいただいております。	今後も保護者様のお悩みを精聴し、子育てのご相談を受け、ご家庭でも取り組める効果的な関わり方等をご提案するなど、相互で連携した支援を心がけてまいります。	
	保護者への説明等	36 運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	10		契約時には運営規定、利用者負担等について丁寧な説明に努めております。また、契約のみならず保護者様のご希望があるときには、再度わかりやすく丁寧にご説明しております。	
		37 放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	10		モニタリングやアセスメントを確認する中で、保護者様の意思やご希望をお聞きする機会を設けております。	
		38 「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	10		保護者様のご意向や、児童の特性、ご家庭の状況を踏まえ、ガイドラインに基づいて作成した個別支援計画は、わかりやすい内容の説明を心がけ、保護者様の同意を得ております。	
		39 家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言や支援を行っているか。	10		連絡ノートや送迎時にいただくご相談や定期的な面談などは丁寧に聞き取り、必要な助言や支援に努めております。	
		40 父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援を行っているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	10		事業所主催の保護者会等は、開催できておりません。	プライバシーの観点等もあり、開催するかはアンケート等を実施し決めてまいります。
41 こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。		10		日々の利用に関するご相談は、迅速に対応できるよう配慮しております。苦情へのご相談窓口も設けており、契約時にご説明をおこなっております。		
42 定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。		10		季節ごとに「COMPASSだより」を発行しております。また、公式Webサイトのブログで数月に1回程度、事業所の活動内容をご紹介します。1か月に1回の事業所だよりにも、療育風景や避難訓練、製作等の写真を掲載し、お伝えしております。		
43 個人情報の取扱いに十分留意しているか。		10		個人情報の使用や使用後の処理、保管については細心の注意を払い、厳付きの書庫にて厳重に保管しております。		
44 障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。		10		児童には状況や特性に合わせた伝達方法を心がけ、保護者様にはわかりやすいご説明や情報伝達をおこなっております。		
45 事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。		10		現在、地域の方との交流はおこなっておりません。	プライバシーの観点もあり、保護者様全員の理解や説明が難しい部分もあり、慎重に検討してまいります。	
非常時等の対応	46 事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	10		事業所に掲示するとともに、訓練の実施に基づいて定期的に見直しをおこなっております。		
	47 業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的な避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	10		避難訓練、BCP研修、訓練を実施しております。訓練では児童の特性に応じた参加の方法を考慮しております。		
	48 事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状態を確認しているか。	10		アセスメントの機会に丁寧に聞き取りをおこない、職員全員で周知徹底しております。		
	49 食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	7	3	アレルギーの有無に関してはアセスメントの段階でお聞きし、おやつ成分・種類等配慮しております。	事業所内で食品を口にする機会がある場合には、事前に個別で確認をおこない、保護者様の了承を得たうえで対応しております。	
	50 安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	10		事業所に掲示するとともに、訓練の実施に基づいて定期的に見直しをおこなっております。また、避難訓練は1月1回程度実施しております。訓練では児童の特性に応じた参加の方法を考慮しております。		
	51 こどもを安全確保に図り、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づき取組内容について、家族等へ周知しているか。	10		災害時に避難する場所をお知らせする手紙の配布や事業所の固定電話以外の携帯電話をお知らせするなどして、周知しております。		
	52 ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	10		事業所内外で起こった事例を記録し、定期的な振り返りをおこなうことで情報共有をおこなっております。		
	53 虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	10		事業所内で職員研修をおこない、虐待防止について周知に努めております。		
	54 どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	10		原則として契約時で身体拘束は禁止となっており、かつ、止むを得ず必要な場合には、児童や保護者に十分ご説明をおこない、承諾を得て計画に記載するようにしております。		

〇この「事業所における自己評価結果（公表）」は、事業所全体でおこなった自己評価です。